

令和4年度  
中学校教育課程編成の手引  
【各教科等編】

---

中学校 技術・家庭(家庭分野)における  
1人1台端末を活用した  
「個別最適な学びと協働的な学び」

---

北海道教育委員会

# 技術・家庭（家庭分野）における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」

## 1 題材の概要

学 年：第2学年

題 材 名：B 衣食住の生活「健康・快適で持続可能な衣生活」 14時間扱い

題材の目標：(1) 衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択、衣服の計画的な活用の必要性、日常着の手入れ及び製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。

(2) 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。

(3) よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

## 2 事例におけるICT活用のポイント

- ・家庭科の資質・能力の育成を目的として、「計画、実践、評価、改善」などの「問題解決的な学習」の一連の学習過程の中で活用することができます。
- ・「実践的・体験的活動」である生活を豊かにするものの製作において、安全かつ効果的に学習をすすめるために活用することができます。

## 3 使用したソフトや機能

- ・クラウド機能
- ・文書作成機能

### 【参考資料】

- ・StuDX Style  
各教科等における1人1台端末の活用  
各教科等での活用〔中学校 技術・家庭〕（文部科学省）



# 技術・家庭（家庭分野）における1人1台端末を活用した「個別最適な学びと協働的な学び」

## 4 1人1台端末の活用例

### 【ICTの活用場面①】



・生活を見つめ、生活の中から問題を見だし、解決すべき課題を設定する場面

撮影しておいた「衣服」と「取扱い表示」の写真を生徒一人一人の端末に送信します。

既習事項を生かして、手入れの仕方や手持ちの衣服との組み合わせから問題を見だし、課題を設定することができます。

また、よりより生活の実現に向けて、生徒がクラウド上で意見を共有し、課題解決に結び付けることができます。

### 【ICTの活用場面②】

日付	学習課題	今までの経験や体験で疑問に思ったことや失敗したこと、困ったことを書く。	今日の授業で学んだことや、「なるほど!」と思ったこと、今後の生活に生かしたいことを書く。	家庭で実践したことやそれに対する保護者からのコメントなどを書く。	先生から
1 6月17日	衣服の状態に応じた手入れは、どのように行えばよい。	6/17ご飯を食べていたら、ケチャップが服についてしまっで、洗濯しても落とせなかった。	6/17洗濯機に入れるだけじゃなくて、「部分洗い」をすることが分かった。「しみ抜き」も知ったので、今度やってみよう。	6/21この前の休みに、くつしたに付いた汚れを自分で洗ってみた。そのあと、洗濯機で洗ったらきれいになった。	授業で学習したことを、さっそく実行してみたんですね。「自分でやってみる」って、とても大切なことですね。
2 6月21日	衣服の素材に適した手入れの方法には、どのようなものがあるだろうか。	6/21表示を見ないで洗濯して、服がちぎれたが、原因はわからなかった。	6/21繊維によって、手入れの仕方が違うことが分かった。		○現在は、色々な繊維で作られた服があるので、どのように手入れするとよいかは、授業の時のように「表示」でしっかり確かめることが大切なんだよ。
3 6月29日				2021/06/29「取扱い表示」を見てみると、手入れの方法が細かく書かれていた。それによって、	

・実践した結果を評価・改善したり、改善策を検討したりする場面

端末に、題材全体を見通すことができるシートを保存します。生徒は、これまでの生活経験や今後の生活で生かしたいことなどを記入し、保存します。学習の記録が蓄積されることにより、自己の成長や思考の変容を確認することができ、教師の指導の改善にもつながります。

生活の課題発見

解決方法の検討と計画

課題解決に向けた実践活動

実践活動の評価・改善

家庭・地域での実践

# 家庭分野における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

## ①「実践活動の評価・改善」の場面で活用

家庭や地域での実践活動を振り返り、評価・改善する場面において、家庭や地域での実践計画の記録を残し、実践の様子を撮影することにより、実践の成果や実践の中での発見や疑問等について、具体的な写真や動画を活用して説明したり、実践の改善に生かしたりすることができます。

## ②実践的・体験的な活動での安全かつ効果的な活用

実習や製作の中で、つまづいた時や細かな動きを確認したい時に、クラウド上の動画の中から生徒一人一人が必要とする場面の動きを選び、何度も繰り返し再生することで、安全かつ効果的な学習活動を行うことができます。



### 【参考資料】

- ・家庭、技術・家庭（家庭分野）の指導におけるICTの活用について（文部科学省）



【スライド資料】



【解説動画】